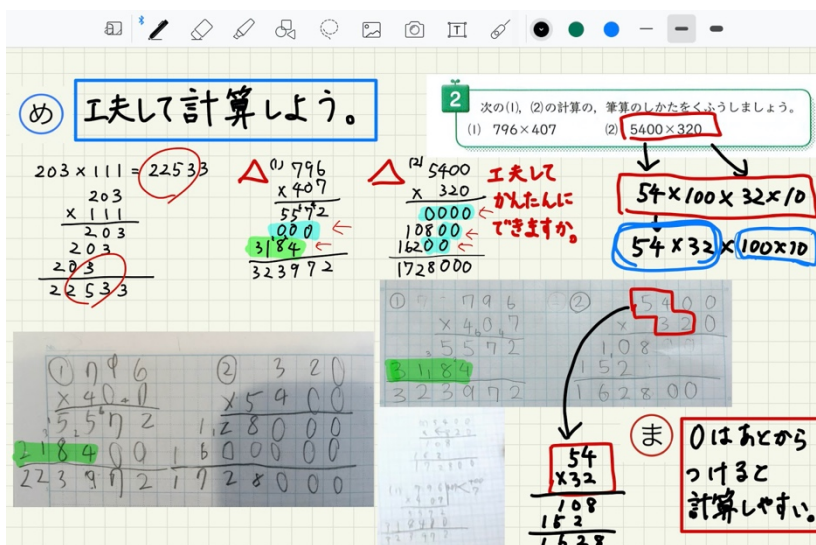


新型コロナウイルスの影響により、4月1日の始業式から完全オンライン授業を実施しました。

「子どもの意見を板書で生かす！Google Classroom の利用」

一方的な教え込みになりがちなオンライン授業ですが、子ども達の意見を板書に取り入れながら、自分の考えを発表する授業を行いました。子どもが自分のノートに書いた式を撮影し、Google Classroom を利用して教師に送ります。その画像を教師が全体に共有し、子どもたちはそれを利用して、自分の考えや解法について発表することができます。4年生の大きい数のしくみの単元では、0のある筆算を簡単にする工夫について活発な意見の交換が行なわれました。



「実験&映像教材の見せ方」

6年生の「体のつくり」の単元では、吸う空気と吐く空気の違いについての実験を実施した。二酸化炭素量の変化を見るため、石灰水を使用した実験であります。オンライン授業という環境であっても、子ども達が実物を見て、結果をリアルタイムで観察することは可能です。実際にカメラの前で、呼気の入った袋に石灰水を入れて振ったり、石灰水に息を吹き込んだりすると、子ども達は興味深々。早々に「白くにごった！」という声があがり、しっかりと石灰水の色の変化を観察できました。



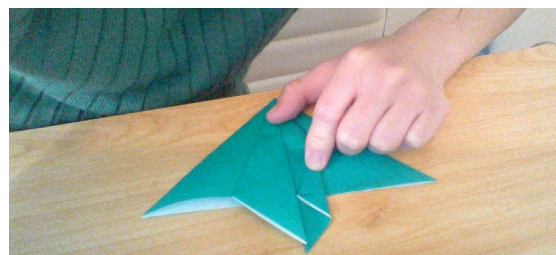
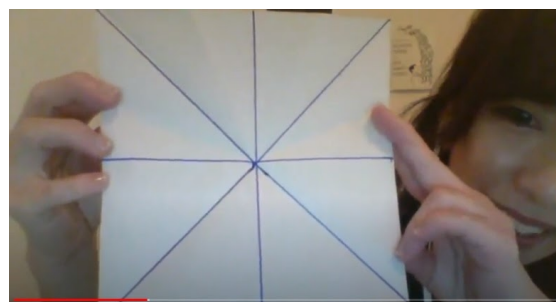
「学校探検」

2年生の生活科の単元「1年生の気持ちになってみよう」では、入学してきたばかりの1年生に学校紹介を行った。今回の事態を受け、学校に登校することのできない1年生に、遠隔で学校紹介を行いました。子どもの発表に合わせて、リアルタイムで映像を見せることができ、通常の学校探検と同じように発表を行うことができました。

### 「みんなで楽しむオンライン工作」

1, 2年生合同の図工の学習では、作って遊べる紙工作を行いました。オンラインでの図工の学習では、各家庭が同じ材料を用意することが難しいため、どの家庭でも準備しやすい材料を使った活動にする必要があります。正方形の紙を用意し、飛ばして遊べるロケットを作りました。教師の手元の紙を画面にうつしながら説明し、子どもたちが理解しやすいよう、マークや線を入れながら折り方を伝えました。教室でこのような活動を行う場合、子どもたちと教員の間には距離があり、手元が見えにくくなる可能性があります。オンライン授業では一人ひとりに作業の細かい部分まで伝えることができました。

またオンライン授業では、子どもたちは周りを気にせず、自分のペースで作ることができます。ストローなどの材料がなくても、家にあるものを代わりに使いながら工夫する様子も見られました。授業の後には、家族の分も作って一緒に遊ぶなど、家の中で過ごす楽しみも増えました。



### 「お家でできる体づくり運動配信」

オンライン授業で体育を取り入れる事は、自宅待機中の子ども達が体を動かす時間を確保できる点でとても重要です。全児童が同時に同じ Google Meet の会議に接続し、教師が運動をする様子を配信し、指導を行ないました。授業内容はエアロビクスやダンス、ヨガなど、家庭でも活動できる運動が中心でした。

### 「バーチャルクラスルーム」

英語科では、Google Classroom での課題学習と Google Meet によるライブ学習を併用した形でのオンライン指導行いました。

Google Classroom は教師がクラス運営の一環として、ネット上で課題を管理したり提出させたりするのに便利なツールです。英語科では、これを学習ツールとして有効活用するだけでなく、オンライン授業期間中のバーチャルクラスルームとして使用しました。というの



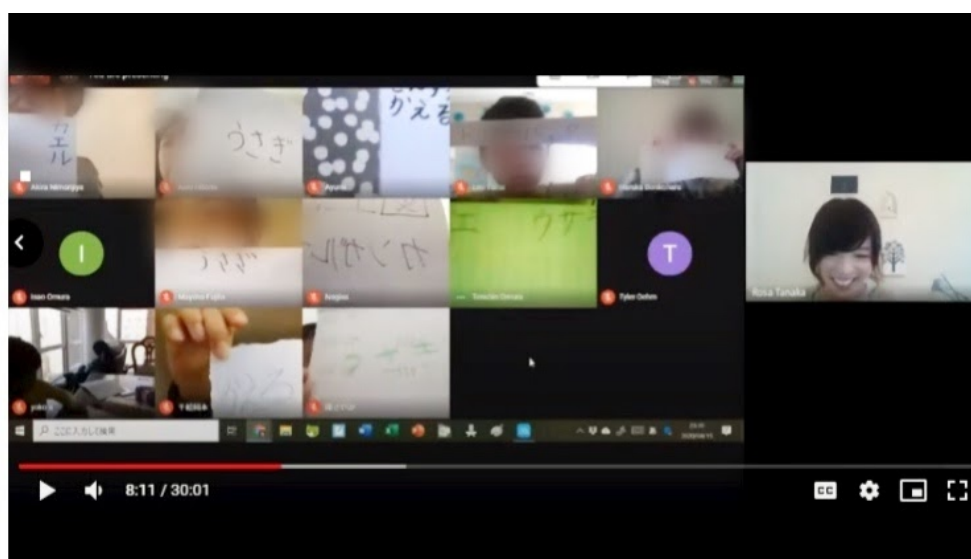
も、本学園の児童にとって、英語での Google Classroom は、取り組む課題だけでなく、担当教師とのやりとり-指示を読んだり、質問をしたり、返信をしたり-すること自体が英語の学びにつながっているからです。

教材は、普段の基礎学習で使用しているテキストを使うのではなく、各教師が自分の担当しているクラスのレベルに合わせ、インターネット上で収集した素材を使用しました。学園では、Scholastic と Time for Kids という教材を定期購読し、普段から児童が家庭からウェブ教材にアクセスできるようになっています。これらの教材に加え、今回の COVID-19 による閉校に伴い、多くの教育ウェブサイトが一定期間無料で利用できるサービスを開始したため、それらのサイトも活用して授業計画を立てました。主に利用しているサイトは、PBS LearningMedia、epic!、ReadWorks で、年齢・教科別、または読解レベルや興味・関心に応じて、様々なジャンルの本・オーディオブック・ビデオ教材などがサイト上に豊富に提供されています。

Google Classroom の運営に加えて、週 2 回は Google Meet を活用し、スピーキングに特化した授業を行いました。語学習得においては 4 技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) のバランスの取れた学習が理想です。Google Classroom では、eBook を用いたりリーディング、読解クイズやショートエッセイなどのライティング、ビデオ教材を用いたりスニングの活動が中心となり、スピーキングの場が提供されません。そこで、Google Meet を活用し、Google Classroom で用いた課題を教材にして、スピーキングの練習ができる場を作りました。内容としては、初級レベルではフォニックスや語彙の学習、中・上級レベルでは、課題で読んだ本や記事に関する内容理解や話し合いなどです。このように、Reading/Writing/Listening (Google Classroom でのインプット型学習)→Speaking (Google Meet でのアウトプット型学習) の学習モデルを作ることで、スキル統合型の授業展開をオンライン指導においても実践することができました。

#### 「オンラインで繋がる他学年との関わり」

オンライン授業が開始してから、週に一回オンラインでの縦割り活動を実施しました。1年生から6年生まで10名程度集まり、話したり、ゲームをしたりしながら、交流を深めました。お題に沿った答えをそれぞれがカメラにうつし、全員で答えを揃えるゲームでは、全学年が楽しめる内容でした。



本来であれば、春の遠足や1年生を迎えるイベントが行われる時期ですが、直接交流が難しい今、オンラインで他学年と交流できることは非常に貴重な時間でした。高学年はオンラインでも低学年が楽しめる内容を考え、わかりやすい話し方を意識しながら取り組みました。